



KANAIWA ONO  
ART PROJECT

# 金石スタジオ 通信

10

金沢21世紀美術館が進めている金石大野芸術計画(Kanaiwa Ono Art Project)のその活動の拠点となっている金石スタジオ(金石松前町1番16号)から、毎月みなさまに、最新情報をお届けするニュースレターです。

AIR  
アーティスト・  
イン・レジデンス

## 東京理科大学 伊藤香織研究室

10月〜11月滞在予定

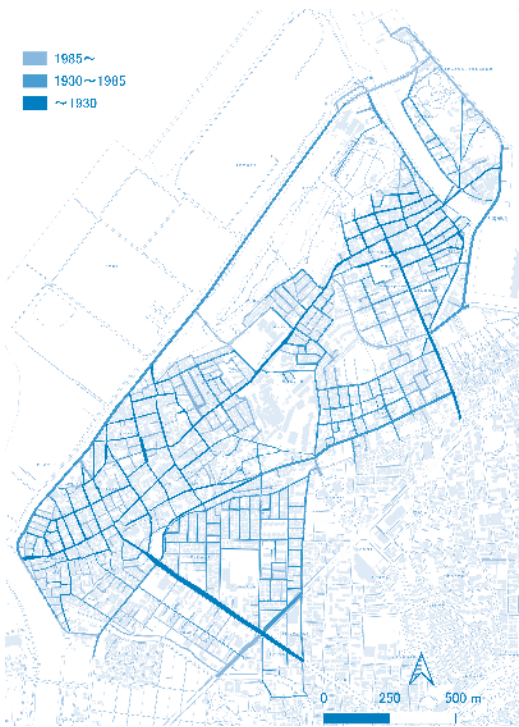
まちの調査で、みなさんにお話をうかがいます！

初めて金石を訪れたのは、今年の一月。数日前に積もった雪が残り、まだちらほらと雪の舞う日でした。最初の印象は「つかみどころのないまち」。ヒントがあちこちに顔を出しているのに、簡単に捉えさせてくれない、という印象です。そのことが却ってこのまちを読み解きたい！という気持ちにさせました。

私たちは、東京理科大学で都市の研究をしている研究室です。金沢21世紀美術館と共同研究をしていて、金石のまちの個性や可能性を探りたいと考えています。そこで、私たちは一旦まちを「空

間」と「人」に分けて見てみることにしました。

まず空間について。稠密なまちとしてのまとまり、湊に向かう道を中心とした直交しない街路網、ヒューマンスケールの街路や路地、幅員の変化で生まれる道とも広場ともつかない場所、いくつかの時代の住宅や蔵がつくりだす街並み、店空間が道空間に接続している商店街。一通り歩いただけでもいろいろな特徴があることがわかります。



こういったまちのかたちは、近年世界中で注目を集めている「十五分都市」とか「二十分近隣」のような考え方向に向いているようにも見えます。これは、徒歩や自転車で十五分(二十分)で仕事や学校や買い物や遊び場など生活に必要な機能が揃うようなまち、という意味です。一方で、もう少し引いて金石を見ると、金沢市の郊外で、まちの外の機能に依存するまち、という見方もできます。

図は学生たちが過去の地図を重ね合わせて調べた街路の形成年代です。このように、ただ行つて見るだけではなく、いろいろな情報も踏まえて「空間」の特徴を捉えたいと考えています。

さて、「人」は「空間」に依存して暮らし、「空間」は「人」の営みで作られるので、「空間」と「人」は相互に作用しながらまちを織り成しています。ですので、これから知りたいのは、金石の「人」です。金石に暮らす人たちは日常的にどのようなまちを使い、どんなところを大切にしているのだろうか、大人と子どもの違いや時代による違いなど知りたいことがたくさんあります。そこで、地域の皆さんに金石での暮らしについて教えていただきたいです。

十月には、学生たちが金石スタジオで、お話を伺う場を設けますので、是非お立ち寄りください。その前後の期間にもまちの様子を調査する計画なので、お声がけすることがあるかもしれません。まちのことを教えていただけると嬉しいです。見かけたら、気軽に声をかけてください！

★聞き取り調査「あなたのまちの使い方」小学生時代と今  
10月23日(土)〜31日(日)  
各日10時〜18時  
場所：金石スタジオ  
内容：…



・小学生の頃の通学路や遊び場などをお話してください。  
・現在の生活ではまちの使い方がどのように変わったかもお話しください。  
・差し支えなければかつての金石の写真をご持参ください。  
同時開催イベント：…  
「まちの模型を完成させよう」  
「天野航一マジックショー」  
メンバー紹介：…  
坂口太一「金石の独特な雰囲気をもっと体験しました。」  
中積弥恒「人の暖かさが本当に印象的です！」  
天野航一「様々な歴史が随所に詰まっていると感じます。」

PP  
パブリック・  
プログラム

金石手芸部

10月から再始動!

七月に開催されたかないわ楽座の「金石手芸部」をまじの部活として継続できないだろうか、そんな思いをまわりに話すと賛同してくれる方々が集まり、この度「金石手芸部」を再始動できることとなりました。

この夏はアーティストの宮田明日鹿さんが始めた手芸部によく通いました。その時間、その場所に行くとかならず誰かが手を動かしている。そんな日常がわたしにとってはとても心地よく、手芸をツールとして、普段顔を合わせないような人に出会える魅力が手芸部にはありました。その存



活動場所をご提供いただく旧田村化粧品店にて



手芸用品や材料の寄付も随時募集しています!

在は単にイベントごとではなく、もはや生活の一部のようになり、家のリビングがまじにはみ出している、そんな錯覚すら感じました。

手芸といっても幅広く、編み物や刺繍、布小物作りなど、みなさん様々な材料を使いながらせっせと手を動かし、口を動かしていました。わたしも普段はあまりやらない編み物に挑戦しました。手芸部に先生はいませんが、詳しい方に教わったり、意見をもらったりしながら制作していく過程は、家で一人でやっても味わえないとても充実した経験となりました。また、同じように感じている方がとても多く、誰か続けてくれないかな...という天の声も聞こえたので、今回の再始動に至りました。

糸をあらわす「YARN」という言葉には、「おもしろい

話をする」という意味があるそうです。手芸の技術や美しさを引き継ぐことも大切ですが、同じ趣味をもつ人が集まり、わいわいと楽しい時間を共有できるようなコミュニティの場をつくりたいと思っています。どなたでもお気軽に参加いただけます。一緒に楽しみましょう!(金石手芸部部長 北村陽子)

【部員からの「メント」】

寺脇孝子 今年の二月頃、金石スタジオの週末コタツでのんびりと腹巻きを編んでいたところあるスタッフから「春になったら『あみもの部』(当時)が出来ると」と声をかけられ、その後七月に『かないわ楽座』で編物作家の宮田明日鹿さんの手芸部が開催され「金石にも手芸部を作ろう」と言う案が浮上し、思ってもいない展開で私も手芸部の一員になる事になりました。私自身、編物も手芸も独学なのですが、金石の地元愛溢れる手芸好きな皆さん、そして金石以外の皆さんと共に楽しい時間を過ごせたら、と思っています。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

徳永優子 私は、家事や育児の隙間時間に自宅で一人黙々

と手芸をしていましたが、この時間を誰かと共有出来たらいいなあと常々感じていました。そんな中、金石手芸部に参加し、お話ししながら編み物をやってみたり、皆さんが作った作品をみたりと楽しくて時間があつという間でした! 習い事では無く「自分の好きなものを自由に作れる場所」で大人になっても楽しめる部活ってなんだかわくわくします! これからも手芸部を通して色々な方々と楽しい時間を過ごせたらと思います。

★金石手芸部

活動日: 毎月第2・4火曜日  
10時~12時ほか ※不定期開催、店頭または金石手芸部のインスタグラム (@kanaiwa\_studio)にてお知らせします  
場所: 旧田村化粧品店(金石下本町2-18)  
参加費: 無料



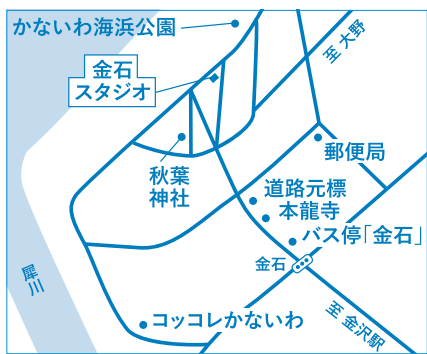
おしゃべりしながら一緒に楽しみましょう!



金石スタジオ  
金石西2丁目17-23

バス停「金石」から歩いて5分、海岸通り沿いです。公共交通機関や徒歩、自転車などをご利用ください。

スタッフ常駐は、毎週土曜の13時~17時です。



金石スタジオ  
情報発信中



Instagram



facebook